



## 藪田 桜子 (やぶた さくらこ)

地質情報研究部門 情報地質研究グループ

地質情報研究部門情報地質研究グループの藪田桜子です。2022年3月に名古屋大学大学院にて修士（環境学）を取得後、2年ほど民間企業で働き、今年の4月に産総研に入所しました。

日本列島の中部では、本州弧に伊豆-小笠原弧が衝突し、衝突帯の地質が形成されています。この衝突は、数千万年前から始まり、今後も衝突し続けると言われています。修士課程までは、この衝突メカニズムや衝突による本州弧への影響を解明することをモチベーションとして、衝突が開始した時期に本州弧で形成された地層の層序・地質構造・碎屑物の供給源の変化を研究してきました。

今後は情報地質研究グループで、都市域の地下の3次元地質モデリングに関する研究を行います。地震防災やインフラ整備を実施する上では、都市の地下の地層の3次元分布を解明することが重要です。そこで、ボーリングデータから都市地下の層序・地質構造を調べ、地層分布を3次元モデル化し、わかりやすい形で地層の3次元分布を公開したいと考えております。

また、これらの研究を通じて、災害に強いまちづくりや都市のインフラ整備に貢献していきます。これからどうぞよろしくお願い致します。



## 片桐 星来 (かたぎり せいら)

地質情報研究部門 シームレス地質情報研究グループ

本年度より修士型研究員として地質情報研究部門シームレス地質情報研究グループに配属となりました。片桐星来と申します。日本大学を卒業後、名古屋大学大学院環境学研究科で修士課程を修了しました。

修士課程では中部地方の三波川変成帯・御荷鉾帯を対象に、炭質物ラマン温度計を用いて超苦鉄質岩体周囲に分布する泥質片岩の変成温度解析を行ってきました。変成温度解析はその地域で起こった構造運動を解明するヒントとなります。本研究では、中部地域の三波川変成帯全体を通してほぼ平坦な温度構造を示しているのに対し、超苦鉄質岩体に囲まれて分布する部分は超苦鉄質岩体外側よりも変成温度が低いことが明らかになりました。この結果は、岩体内側の泥質片岩が周囲より沈み込み帯浅部で変成作用を被った後、構造的な下位への移動が起こったことを示唆します。

今後産総研では、蛇紋岩に注目して斜面災害プロジェクトに取り組むと共に、博士号取得を目指して精進してまいります。地質学を社会に還元するプロジェ

クトに携われる喜びと緊張を忘れず、新しいことにどんどん挑戦していきたいと思っております。拙い点多々あるかと思いますが、何卒よろしくお願い致します。





## 喜瀬 浩輝 (きせ ひろき)

地質情報研究部門 海洋環境地質研究グループ

地質情報研究部門海洋環境地質研究グループに研究員として配属されました，喜瀬浩輝と申します。2021年に琉球大学にて学位を取得後，地質情報研究部門海洋環境地質研究グループ，環境創生研究部門環境生理生態研究グループで3年間のポスドクを経て今に至ります。学部～博士課程では，形態学，分子系統学，集団遺伝学の3つのアプローチから，海洋の生物多様性や進化に関する研究を実施してきました。サンゴ礁～深海帯を中心に研究をしており，これまで20種以上の新種を記載し，生物の遺伝的連結性の評価や生物群集構造の変動を時空間的に明らかにしてきました。海洋環境地質研究グループでは，海洋エネルギー・鉱物資源開発に係る環境影響評価を主な研究課題として，研究手法の高度化を進めていきたいと考えています。産総研には異なる分野の研究者が在籍されているので，そういった方々と交流を深め，分野横断型の新しい研究テーマにも挑戦していきたいと思っております。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。



## 阿部 彩歌 (あべ あやか)

地圏資源環境研究部門 地圏メカニクス研究グループ

地圏資源環境研究部門地圏メカニクス研究グループに配属となりました，阿部彩歌と申します。博士課程では地熱増産システム(EGS)と呼ばれる，高温の岩体に貯留層を造成して水を循環させることによって熱エネルギーを取り出し，地熱発電を目指す研究を行ってまいりました。貯留層水圧刺激によって水の流路となるき裂ネットワークがどのように形成されるかを，数値シミュレーションとコア実験を通して検討してまいりました。

貯留層工学を中心に貢献していきたいと考えております。特に流体・熱の移動による貯留層挙動の理解，誘発地震のリスク評価や低減に向けた注水条件の最適化に取り組んでまいりたいと考えておりますので，どうぞ今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

私は修士課程修了後，石油天然ガス開発関連の企業でソフトウェアエンジニアとして検層機器の開発に取り組んでまいりましたが，業務の中で地熱開発に興味を持ち，地熱の研究をするために博士課程へ進学いたしました。博士の学位を取得後は地熱発電に関する技術開発に携わってまいりました。

産総研では低炭素社会の実現に向けて，地熱開発に加えてCCSなど幅広い分野でジオメカニクス・

